

質疑並びに一般質問

6日間にわたり、次の23人の議員が質問しました。
ここでは、その一部をお知らせします。
この記事は各議員が作成しています。

柏清風

円谷憲人

●「振り込め詐欺撲滅条例」制定に向けて

○ 検討中の特殊詐欺等撲滅条例、いわゆる振り込め詐欺対策条例の概要は。

○ 市内において振り込め詐欺の被害が後を絶たず、金融機関等の関係事業者からも防止対策の方針を明確にした条例の制定が必要との意見が多く寄せられた。市の責務、市民や事業者の役割等を規定しているほか、本市独自のものとして被害者へのケア、支援等を規定している。

○ 想定される市民、事業者の役割は。

○ 被害者は被害に遭った、遭いそうになったということを知られたくないという思いがあり、それが犯罪をふやしているという傾向があるので、市民・事業者とともに、まずは振り込め詐欺



スマートフォンでの「柏市電子母子手帳サービス」

にかかわる行為を発見した場合の警察等への通報をお願いする。事業者においては、市民の啓発への協力も行っていただく。

● 柏の葉キャンパス駅と柏駅をつなぐ直通交通

○ 柏の葉地区と柏駅周辺の行き来をスムーズにすることは、両地区の相互的な発展に欠かせないと考えるが、その必要性についての考えは。

○ 本市の拠点である柏の葉キャンパス駅周辺地区、柏駅周辺地区及び沼南支所周辺地区を結ぶ公共交通軸の強化は、重要な施策と考えている。今後地域のニーズを把握しながら運行方針やルート等の方向性を検討していく。

● スマホ版母子手帳について

○ 27年度から試験導入したスマートフォンで利用できる「柏市電子母子手帳サービス」の概要は。

○ 予防接種のスケジュールや子供の沐浴方法、離乳食の作り方などを動画で配信するなど、従来の手帳を補完する事業として実施している。従来の手帳とあわせて利用することで、安心・

安全で豊かな子育てに役立つことを期待している。試験導入の登録者のアンケートでは、便利だと思える機能として予防接種の情報・予定日の管理、子供の日々の発達の記録、乳幼児発育状況のグラフ表示などが挙げられている。

● 妊娠から育児まで子育て一括支援

○ 妊娠時からそれに続く育児期間まで、継続的に行政サービスを提供するシステムについて、本市の考えは。

○ 国では子育て支援拠点を整備し、妊娠期から子育て期までのさまざまな悩み、ニーズに対しての相談支援を提供することを打ち出している。本市もこのも部・保健所が連携し、本市の実情に合った切れ目のない子育て支援体制の構築を目指す。

● 市立病院

○ 現在の市立病院に必要なことは、経営基盤とマネジメントの強化である。議決機関である医療公社の理事会に市の職員が代表理事として参画しているがその機能はどうか、医事専門の事務職員は配置したのか、救急の受け入れ状況はどうか。また、26年度の決算はどうか。

○ 保健福祉部理事が代表理事となり、市の意向を理事会で積極的に発言している。事務職員について、4月から民間病院で実績ある者を1名採用した。救急受け入れは、市全体の約8%を担っている。病床稼働率は約72%で、決算



柏市立柏病院

は民間事業者ベースで約1300万円の赤字である。

○ 決算も病床稼働率も深刻な状態だ。市は病院経営の諸問題を場所のせいにしてはいるが、それは余りにも無責任過ぎる。代表理事として市の反省はないのか。移転して小児二次救急を展開することで公立病院の責務を果たし、経営改善につなげるというのも余りにも勝手過ぎる。

○ 場所のせいだけにしてはいるわけではない。場所も条件の一つである。今後経営に力を入れ取り組んでいくことは約束する。

● 口腔ケア

○ 要介護者の口腔内の清潔はおざなりにされやすい。口腔内の細菌と内科系疾患との関連性、そして機能と老化、認知症との関連性等、口腔環境が全身の健康と密接に関係していることがわかってはいるが、口腔ケアの重要性に対する市民の認識は十分ではない。口腔ケアの啓発や事業の推進を図るべきだ。

○ 本市では在宅医療と介護の連携の取り組みと口腔ケアを連動させて在宅生活の支援を充実させるために国から総合特区制度の規制緩和を受けている。今後も歯科医師会、関係団体と協力し啓発活動を行っていききたい。

● 第五次総合計画

○ 商工会議所や多くの団体からの提言にどう応えるのか。

○ 長期的なビジョンで取り組むまちづくりの御意見として丁寧にお聞きし、策定に取り組む。

● 柏市平和都市宣言

○ 国際関係や近隣諸国の情勢を学ぶ世界平和展の開催が必要である。

○ これまでの平和啓発だけでなく、日本が置かれている国際情勢を学ぶ機会も必要と考える。

● 交通政策

○ 柏駅と柏の葉キャンパス駅を結ぶ直通バスを提案したいが。

○ 運行方式やルート、新たな公共交通システムなどさまざまな検討をしていきたい。

● UDC2(※)

請願・陳情の方法

行政などへの要望を「請願」「陳情」として
文書で議会に提出することができます。

● 請願 本会議・委員会で審議されます。内容に賛同する紹介議員(柏市議会議員)の署名または記名押印が必要です。

● 陳情 全議員へ写しを配付しますが、審議はされません。紹介議員は不要です。

● 提出方法 任意の用紙に請願や陳情の件名、具体的趣旨、説明または理由などをわかりやすく記載してください。場所を示す場合は地番を明示し、「図面」を添えてください。
代表者の住所・電話番号・氏名(署名または記名押印)を記載の上、議会事務局(本庁舎6階)へ直接ご提出ください。
※署名簿は、各自が住所・氏名を署名または記名押印してください。
※随時受け付けておりますが、請願は、定例会ごとに招集日の午後5時を締め切りとしています。

○ UDC2の成果と課題は。

○ 柏駅周辺まちづくり10力年計画を通し、さまざまな事業を公民学連携で推進していきたい。

● 2020年東京五輪

○ 東京五輪年の修学旅行を応援・観戦旅行にはどうか。

○ 直接観戦したり応援できなかったら、その教育的価値は高く、一生の思い出になり、実現できなかったら少しと考える。

○ 手賀東小学校こどもルーム

○ こどもルーム設置はどうか。

○ 整備の必要性のニーズ調査を行い協議、検討する。

● スクールバス

○ 市内の小規模小学校でスクールバスの導入を提案したいが。

○ 一定数の児童と良好な教育環境を維持するために検討する。

● 不登校・いじめ対策

○ 不登校児童の生活や学業の評価はどのように行っているか。

○ 生徒指導アドバイザー等を配置して、努力が報われ、意欲につながるよう強化している。

● 中央図書館

○ 図書館の建てかえの提案をしたが。

○ 現段階では、子ども読書活動の推進、共同行政資料の充実、IT環境への対応をテーマとしてソフト面から充実させる。

○ 手賀近隣センター

○ 設置の提案をしたが。

○ 検討委員会からは、行政の出張所や図書館機能は設けないということと要望を受けている。

○ 近隣センターの複合利用

○ 近隣センターの複合施設としての利用の提案をしたが。

○ 公共施設等総合管理計画の中で公共施設の再配置や施設の保全の方針を定める。

● 環境政策

○ 高齢者こみ出し支援は。

○ 今後、民間事業者の創意工夫や提案の中で高齢者サービスとして検討していく。

○ 国道16号戸張入口交差点

○ 交差点改良の進捗状況は。

○ 東台本町側は、歩行者の安全を図るために交差点形状を変更した。羽黒台側は、用地取得のための交渉を行っている。

※ UDC2 = Urban Design Center Town With Oak の略。公・民・学の連携を強め、柏駅周辺のまちづくりの拠点としてこの春に誕生したもの。